



親子で楽しくスケッチ

■4月30日、親子スケッチ教室が行われ、42人が参加しました。参加者した親子は、青空美術館の作品を楽しみながらスケッチしていました。



県内の強豪が熱戦

■5月3日から3日間、全日本学童軟式野球大会県予選大会が開催され、県内各支部から16の代表チームが熱戦を繰り広げました。枕崎支部からは桜山野球スポーツ少年団が出場。選手たちの懸命なプレーに会場からは大歓声が送られていました。



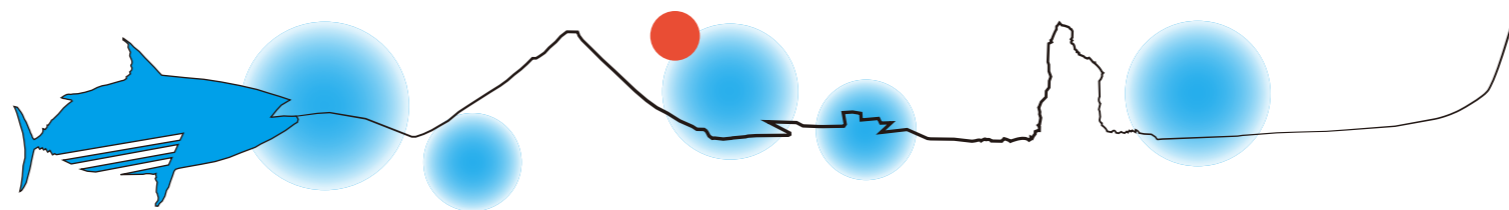
茶業青年の会荒茶品評会

■5月13日、枕崎市茶業青年の会が主催する荒茶品評会が、南さつま農協枕崎支所で行われました。品評会には27点が出品され、3人の審査員が色や香り、味などを審査しました。



中州川でホタルが幻想的に舞う

■5月中旬から下旬にかけて、中州川でたくさんのホタルが幻想的な光の舞を見せていました。



鯉船人めしと鯉大トロ丼がお土産品に ～枕崎市通商連合会と中原水産が商品開発

県内の商店街グルメナンバーワン決定戦「Show-1 グルメグランプリ」でグランプリを獲得した「枕崎鯉船人めし」と「昆鯉 枕崎鯉大トロ丼」のお土産品が完成し、4月27日に発表・試食会が行われました。両商品は、枕崎市通商連合会と中原水産が約8カ月をかけて研究を重ね、商品化が実現しました。

「枕崎鯉船人めし」は、具材に枕崎産一本釣りカツオの角煮を使用し、出汁は鍋で加熱する出汁パックを採用しています。「昆鯉 枕崎鯉大トロ丼」は、亀田揚げにした腹皮をそのままパックにし、ぷりぷりでジューシーな味わいとなっています。

販売金額は「枕崎鯉船人めし」が1,500円、「昆鯉 枕崎鯉大トロ丼」が1,200円(それぞれ税抜き)。市内の土産店などで購入することができます。



立神野球スポーツ少年団が準優勝 ～第29回九州少年軟式野球県予選大会

4月23日、5月1日に曾於市で開催された、第29回九州少年軟式野球県予選大会で、立神野球スポーツ少年団が準優勝しました。同少年団は、8月に熊本県で開催される九州少年軟式野球大会に県代表として出場します。

キャプテンの田畑健太くん(立神小6年)は「予選大会の決勝は、負けてしまったけどいい試合だったと思います。次の九州大会では、もう少しチームをまとめて、優勝できるように頑張りたいです」と話してくれました。



①鯉節削り大会 ②かつお一本釣り大会 ③カツオの解体ショー ④かつおパック詰め取り大会

子どもも大人も楽しんだ2日間 ～第34回こどもの日かつおまつり

「こどもの日かつおまつり」が、5月4日・5日に地場産業振興センター周辺で行われました。

会場は、県内外からたくさんの家族連れなどで賑いました。恒例の鯉節削り大会やかつお一本釣り大会、かつおパック詰め取り大会などでは、子どもだけでなく大人の参加も多く見られ、童心に返りながらイベントを楽しんでいました。また、今回初めて、鹿児島水産高校食品工学科の生徒によるカツオの解体ショーもあり、観客をわかせていました。飲食ブースでは「昆鯉 枕崎鯉大トロ丼～寿～」を始めとする多くのご当地グルメに舌鼓を打つなど、来場者は楽しい連休のひと時を過ごしていました。

鹿水高生が難関採用試験に合格 ～国土交通省航空局の採用試験

鹿児島水産高校の情報通信科専攻科の1・2年生7人が、国土交通省の「航空管制運航情報官」、「航空管制技術官」採用試験を受験し、全員合格の快挙を手にしました。合格した7人は、6月から航空保安大学校で研修を受けた後、全国の空港などに配属されます。採用試験を受けるには通信士などの資格が必要で、生徒たちは鹿児島水産高校入学後に「第1級総合無線通信士」や「第1級陸上無線技術士」の資格を取得していました。

運航情報官に合格した平田奈緒さん(専攻科2年)は「航空業界の仕事は子どもの頃からのあこがれでした。事故がなく、出発点から到着点までスムーズな運航ができる運航情報官を目指したいです」と話していました。



国際色豊かな演奏会 ～第10回枕崎ミュージックフェスティバル

枕崎ミュージックフェスティバルが5月14日、市民会館で行われました。ゲストには中国琵琶奏者の涂善祥さんやテノール歌手の包金鐘さん、トランペット奏者のアレクセイ・トカレフさん、馬頭琴奏者の李波さん、ピアニストのアガピエ・ドラゴス・クリスティアンさん、ロシア民族舞踊のガルモシカなど世界各地で活躍する音楽家たちが集結。また、アレクセイ・トカレフさんの提案による、市内外の中学校や高校の吹奏楽部と社会人吹奏楽団の総勢約70人による合同演奏などもありました。観客約700人は、出演者の奏でる音色や歌声に魅了されていました。

最後には出演者・来場者全員で「ふるさと」を歌い、会場全体で音楽を楽しむひと時となりました。